

アシタのたかはま研究所からの研究レポート②

「高浜市の人口の未来」（7月15日号）に続き、今回は、もう少し詳しく小学校区別の将来の人口はどのように変わっていくのかを紹介します。

小学校区別の人口の未来(将来人口の推計)

《港小学校区》

区分	人口のピーク
総人口	2035年(H47)
年少人口	2015年(H27)
生産年齢人口	2025年(H37)

5小学校区中もっとも人口が少ない小学校区です。

平成22年時点で、すでに年少人口を高齢者人口が上回り、平成27年には、超高齢社会に突入しています。



《高取小学校区》

区分	人口のピーク
総人口	2040年(H52)
年少人口	2010年(H22)
生産年齢人口	2025年(H37)

総人口は翼小学校区同様、増加し続けると推計されますが、平成27年ごろに年少人口を高齢者人口が上回り、平成42年には、超高齢社会に突入していきます。



高浜市には
5つの「高浜らしさ」があり、
5つの「まちづくり」
があります。

もっと便利に変わっていく
社会の中で、変わらず残して
いきたい「つながり」
があります。

※超高齢社会とは…
65歳以上の高齢者の占める割合が全人口の21%を超えた社会

《高浜小学校区》

区分	人口のピーク
総人口	2025年(H37)
年少人口	2010年(H22)
生産年齢人口	2020年(H32)

5小学校区中もっとも高齢化が進んでいる小学校区です。

平成22年時点で、すでに年少人口を高齢者人口が上回り、平成27年には、超高齢社会に突入しています。

《吉浜小学校区》

区分	人口のピーク
総人口	2035年(H47)
年少人口	2015年(H27)
生産年齢人口	2030年(H42)

5小学校区中もっとも人口が多い小学校区です。

平成22年時点で、すでに年少人口を高齢者人口が上回り、平成42年には、超高齢社会に突入していきます。



《翼小学校区》

区分	人口のピーク
総人口	2040年(H52)
年少人口	2010年(H22)
生産年齢人口	2030年(H42)

5小学校区中もっとも高齢化率が低い小学校区ですが、平成37年ごろには年少人口を高齢者人口が上回り、平成47年には、超高齢社会に突入していきます。



人口の推計は、住民基本台帳（平成22年10月1日時点）の人口をベースに、平成24年～平成26年の3か年の転入転出の状況より「将来の純移動率」を独自に算出し、「国立社会保障・人口問題研究所」の人口推計による①将来の生残率②将来の子ども女性比③将来の0～4歳性比を用いて推計しています。

《アシタのたかはま研究所 研究レポートは、市公式ホームページで公開しています。》

問合せ先 アシタのたかはま研究所（国総合政策グループ内） ☎52-1111（内線332）